



# 地方公営企業会計勉強会

## 第5回 たな卸資産の時価評価

長谷川公認会計士事務所

[A\\_hasegawa\\_cpa@yahoo.co.jp](mailto:A_hasegawa_cpa@yahoo.co.jp)

<http://a-hasegawa-cpa.jimdo.com/>

# 1. 棚卸資産の会計処理

## 1. 棚卸資産とは

- ①企業がその営業過程で、販売を目的として保有する資産(商品、製品)
- ②販売を目的として製造過程にある資産(半製品、仕掛品)
- ③①、②を生産するために短期間に消費される資産(原材料、消耗品)
- ④販売活動、一般管理活動において短期間に消費される資産(事務用消耗品、包装用品など)

有形のものだけでなく、加工費のみからなる仕掛品のように、無形のものも含まれる。  
不動産業者が販売目的で保有する土地、証券会社が保有する有価証券なども棚卸資産に該当する。

## 2. 取得原価

- ①購入した場合、購入代価に輸送費などの付随費用を加算する。
- ②生産した場合、適正な原価計算基準に従う。
- ③贈与、交換、無償で取得した場合には、取得時点における公正な評価額とする。

## 3. 期末の評価（低価法）

棚卸資産の期末の時価と取得原価を比較し、低い価額をもって、資産の評価額とする。  
差額は、当期の費用(売上原価、製造原価)とする。

低価法は、取得原価と時価を比較して、いずれか低い方の価額で、資産を評価する方法であるから、“予想の利益は計上せず、予想の損失は積極的に計上する”保守主義の原則に基づき、取得原価主義の例外処理である。つまり、棚卸資産を取得するために投下した資本のうち、回収可能額のみを資産計上すると考える。

## 2. 具体的な会計処理

### 1. 期末の時価とは？

公正な評価額をいい、市場価額に基づく価額をいう。

市場価額が観察できない場合には、合理的に算定された価額を公正な評価額とする。

**再調達価額**  
(購入価額+付随費用)

新たに調達するのに  
どのくらいかかるか？



**正味売却価額**  
売価-(見積追加製造原価+  
加工費+販売直接経費)

売却した場合、  
どのくらい資金を獲得できるか？

### 2. 時価と比較する原価は？

#### ★ 切放法。

評価切り下げ後の簿価を  
次期以降の取得原価とみなし、  
これを時価と比較する方法。

VS

#### 洗替法。

原始取得原価と  
時価を比較する方法。

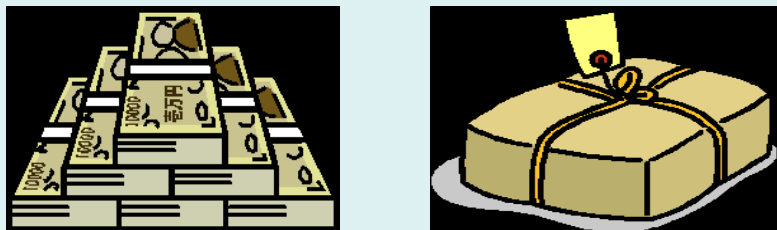
いったん切り下げた価額を再び帳簿に戻さない切放法が合理的。

### 3. 適用範囲

重要性の原則が適用される。  
金額が僅少で、短期に費消  
される棚卸資産については、  
実務上の煩雑さを勘案して  
取得原価を帳簿価額とする  
ことが容認される。

### 3. 補足

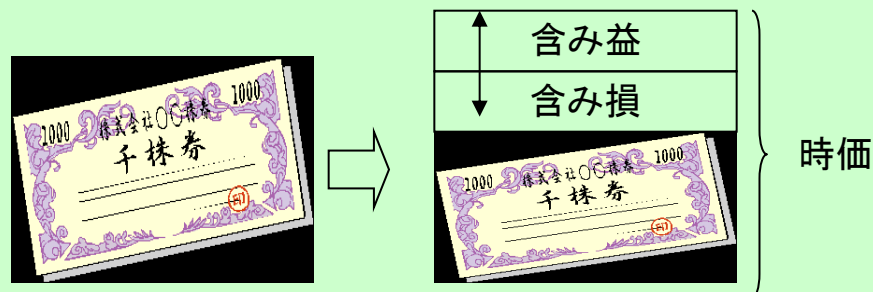
#### 取得原価主義会計



- メリット : 測定の確実性、客観性  
デメリット : 含み損益が開示されない。  
実態と乖離、利益操作が可能

低価法 保守主義の原則による例外

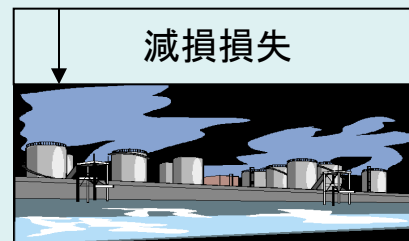
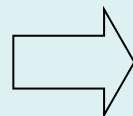
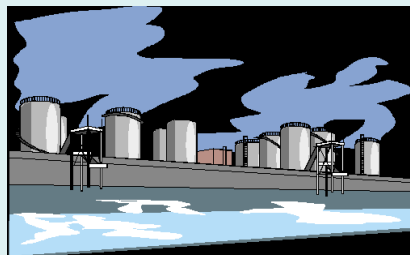
#### 時価会計



資産と負債を毎期末の時価で評価し、  
財務諸表に反映させる会計制度

- メリット : 正確な財政状態、経営成績の表示  
含み損益の開示。投資家保護  
デメリット : 未実現損益が計上される。

#### 減損会計



減損とは、土地・建物などの固定資産が、著しい収益性の低下により期待収益の回収が見込めなくなった場合、対象資産の帳簿価額を、測定された資産価値にまで減額することで決算書に反映させること。減額分は減損損失として、特別損失に計上する。その後、資産価値が上昇し、含み益が生じても、会計処理を行うことはない。減損会計は取得原価主義会計の修正と考えられ、時価主義会計とは理論的に異なる。